

●償却上手くんα・償却上手くんαクラウド Version 4.401

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ SQL Server 2019 への対応

- 2022年7月12日のSQL Server 2012 サポート終了に伴い、データベースを「SQL Server 2019」に移行する必要があります。そのため、減価償却 d b においても通信・移動の業務の対応を行いました。
※当プログラムをインストールしても、6月提供予定の「SQL Server2019 バージョンアップツール」にてバージョンアップを行うまでは、通信・移動においても変更等はありません。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**減価償却 d b (VERSION:4.401) の変更点**”を参照してください。

❗注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

減価償却 d b (VERSION : 4.401) の変更点

改良内容

I. SQL Server 2019 への対応

① 概要

・2022年7月12日のSQL Server 2012 サポート終了に伴い、データベースを「SQL Server 2019」に移行する必要があります。そのため、減価償却 d b においても通信・移動の業務の対応を行いました。

※当プログラムをインストールしても、6月提供予定の「SQL Server 2019 バージョンアップツール」にてバージョンアップを行うまでは、通信・移動においても変更等はありません。

② 対応と注意点

・SQL Server 2019 の対応として減価償却 d b は下記の業務を対応しました。

| 対応業務 | SQL Server 2012→2019 | SQL Server 2019→2012 | SQL Server 2012→2012 | SQL Server 2019→2019 |
|-------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 減価償却 マスターコピー | ○ | × | ○ | ○ |
| 減価償却 マスター送信・移動 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 減価償却 データ抽出 | ○ | ○ | ○ | ○ |

SQL Server 2012→SQL Server 2019 と、同一バージョン間の移動

・上記全ての業務でやり取りが可能です。

SQL Server 2019→2012 への移動

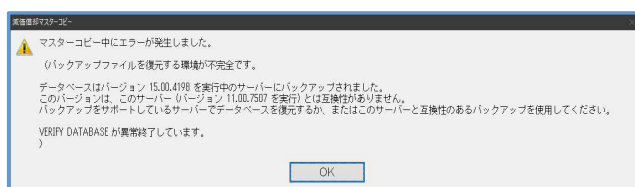
- ・「減価償却マスター送信・移動」「減価償却データ抽出」の IZM 形式を扱う業務は、異なる SQL Server 間でやり取りが可能です。
- ・減価償却マスターコピーでのやり取りは行えません。

●減価償却マスターコピーの注意点

・SQL Server 2019 の環境でマスターコピーを行い、SQL Server 2012 の環境で復元しようとすると、次のメッセージで警告するようにしました。このメッセージが表示された場合は、そのままの状態では復元できません。

SQL Server 2012 から SQL Server 2019 に移行が必要となります。

・前述一覧表の「×」のケースのメッセージ



●減価償却マスター送信・移動とデータ抽出の注意点

・SQL Server 2019 対応の減価償却 d b プログラムをセットし、SQL Server 2019 へ U P した機械から、SQL Server 2012 の機械 (プログラムが 2019 対応済かに関係なく) ・減価償却マスター送信・移動・データ抽出は可能です。又その逆も特に問題はありません。

●クラウド共有オプション

- ・会計事務所と顧問先とで異なる SQL バージョンの場合は処理できません。双方、SQL Server 2019 にして処理してください。
- ・双方、SQL Server 2012 のままでも処理は可能です。

その他の改良・修正内容

I.登録・入力・計算書

1) 資産データ入力

①簡易過不足計算と「減少日まで償却」

- ・特別・過不足等タブで、「当期過不足を簡易計算する」を選択しているデータに対して、期中減少または部分減少で「減少日まで償却」を選択している場合、減価償却タブの減価償却計算において、普通償却額の計算等に減少日までの償却費が加味されていなかったのを修正しました。
- * 既に現象が起こっているデータは、当プログラムで正しく集計します。

《修正前》12か月償却後に期中減少で過不足無し 《修正後》過不足を表示

| ○ 減価償却計算 | | | | ○ 減価償却計算 | | | |
|--------------|-----------|---------|--|-----------|---------|--|--|
| 償却計算基礎・改定額 | 2,000,000 | | | 2,000,000 | | | |
| 期中減少金額 | 1,600,000 | | | 1,500,000 | | | |
| 調整前償却額 (換算率) | 400,000 | 0.200 | | 400,000 | 0.200 | | |
| 換却率調整 (換算率) | 131,040 | 0.06552 | | 131,040 | 0.06552 | | |
| 改定取得価額 | 0 | | | 0 | | | |
| 法定償却額 (法定率) | 0 | | | 0 | | | |
| 普通償却増額(増加率) | 400,000 | | | 400,000 | | | |
| 特別償却増額(特則率) | 0 | | | 0 | | | |
| 償却限度額合計 | 400,000 | | | 400,000 | | | |
| 普通償却額 | 400,000 | 実施率 | | 500,000 | 実施率 | | |
| 特別償却額 | 0 | 100.00% | | 0 | 100.00% | | |
| 換却率合計 (税率割合) | 400,000 | % | | 500,000 | % | | |
| 減損損失額 | 0 | | | 0 | | | |
| 普通償却過不足 | 0 | | | -100,000 | | | |
| 特別償却過不足 | 0 | | | 0 | | | |
| 当期過不足合計 | 0 | | | -100,000 | | | |
| 期末繰前償額 | 0 | | | 0 | | | |
| 減損損失累計額 | 0 | | | 0 | | | |
| 減価償却累計額 | 0 | | | 0 | | | |
| 必要経費算入額 | 400,000 | 経費控分 | | 500,000 | 経費控分 | | |

②部分減少と「減少日まで償却」

- ・資産減少を行う前は「改定償却」に移行していた資産を、部分減少の「減少日まで償却」で計算すると、償却保証額と改定償却の判断が誤っていた為、改定償却ではないという判断になり、「改定取得価額」が消えて、正しい計算が行われなくなるケースがあったのを修正しました。
- ・現象としては
部分減少の入力を行った直後は、削除される前の改定取得価額で正しく計算していますが、「除却・売却情報」の「減少事由」を変更したため再計算がかかり、改正取得価額が無くなっている事から、改定償却移行前として計算してしまうという現象になっていました。
減少事由の選択による不具合ではありません。

- * 既に現象が起こっているデータに関しては、当プログラムで改正取得価額の自動修復と再計算を行います。

| ○ 基本項目 | | | | ○ 減価償却計算 | | | |
|-------------|-----------|-------|-------|--------------|-----------|---------|--|
| 取得年月日 | 選択なし | 継続 | | 償却計算基礎・改定額 | 767,577 | | |
| 供用年月日 | 令和 | 部分減 | | 期中減少金額 | 319,697 | | |
| 償却月数 | 昭和 | | | 調整前償却額 (換算率) | 109,762 | 0.143 | |
| 耐用年数 [Home] | 改正 | 0.143 | 耐用年数 | 換却率調整 (換算率) | 145,620 | 0.04854 | |
| 取得価額 | 3,000,000 | 改定後 | | 改定取得価額 | 383,788 | | |
| 圧縮記帳額 | | | 圧縮記帳 | 法定償却額 (法定率) | 128,184 | 0.167 | |
| 期首簿価 | 767,577 | | 推定簿価 | 普通償却増額(増加率) | 128,184 | | |
| 前期繰越過不足 | | | 繰越金額 | 特別償却増額(特則率) | 0 | | |
| 数量/単位 | 2.00 | 数量分補正 | 1円 | 償却限度額合計 | 128,184 | | |
| 償却方法 | 定率 | | 定率→定額 | 普通償却額 | 128,184 | 実施率 | |
| 償却区分 | 新定率法 | 200% | 250% | 特別償却額 | 0 | 100.00% | |
| 特別償却 | 0.00% | | ヶ月 | 換却率合計 (税率割合) | 128,184 | % | |
| 改定取得価額 | 767,577 | 5年償却 | | 減損損失額 | 0 | | |
| 法定・実質残存 | % | % | | 普通償却過不足 | 0 | | |
| 特殊事項・計算 | なし | 過算計算 | ヶ月 | 特別償却過不足 | 0 | | |
| 構造 [Home] | | | | 当期過不足合計 | 0 | | |
| 細目 [Home] | | | | 期末繰前償額 | 319,696 | | |
| 摘要 | | | | 減損損失累計額 | 0 | | |
| | | | | 減価償却累計額 | 1,180,304 | | |
| | | | | 必要経費算入額 | 128,184 | 経費控分 | |

赤枠も改定取得価額が消えて改定償却に移行していない状態になってしまったため、以下の計算が改定償却前で行われていました。

*ご注意ください!

自動修復は、現在の期首簿価を見て改定償却に移行しているかを判断して、期首簿価を改定取得価額にセットするため、前期以前に改定償却に移行しているデータは、金額を変更していただく必要があります。修復は、部分減少で「減少日まで償却」を選択している場合で、改定償却と判断されるが改定取得価額が消えている資産となります。

③一括修正

- ・資本的支出資産
一括修正で、資本的支出資産を「償却⇔非償却」に変更した場合、非償却となっているが償却費が算出されているなど、正しく計算されていなかったのを修正しました。
1 データずつ修正した場合に、非償却が許可されないデータに関しては、一括修正も対象外にし、許可されるものは非償却計算を正しく行うようになります。
* 既に現象が起こっているデータは、当プログラムで正しく集計します。
- ・分割資産
一括修正で当期非償却を選択した場合、「分割先は分割月以降に償却を開始する」にチェックを付けて分割した「分割元資産」にも「非償却」がセットされていたのを修正しました。
1 データずつ修正した場合に非償却が許可されないデータに関しては、一括修正も対象外になります。
- ・合併年月日と償却月数
一括修正で「合併年月日」をセットしても、合併年月日以降の償却月数が自動的にセットされず、償却費計算も従前のままだったのを修正しました。
* 既に現象が起こっているデータは当プログラムで月数を正しくセットし再計算を行います。

④月割り計算タブ

- ・月割り計算タブの画面の下部の「税務計算との差額調整無し」の欄について、「無し」の選択はないので項目名から文言をカットし、下記のように修正しました。
- ・各種登録-償却資産税タブにおいて、「各月調整/中間・確定申告月調整/四半期月調整」のいずれを選択しているかを、上記項目名の右横の枠に表示するように変更しました。
* この部分は「各種登録」の「償却計算設定登録」の選択を表示する部分ですが、背景色水色に主な選択を、その隣の欄はさらに複数の選択がある場合にその内容を表示します。

《修正前》

| | |
|--------------|---------------|
| 遊休月に償却額発生無し | |
| 税務計算との差額調整無し | |
| 中間申告有り | 耐通達5-1-1で調整する |
| カレンダーによる月数計算 | |

→「…調整無し」という選択はないためカットしました。

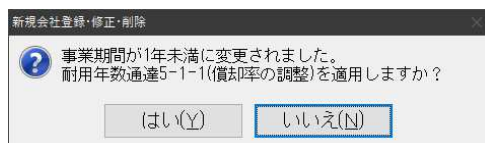
《修正後》

| | |
|--------------|---------------|
| 遊休月に償却額発生無し | |
| 税務計算との差額調整 | 中間・確定申告月調整 |
| 中間申告有り | 耐通達5-1-1で調整する |
| カレンダーによる月数計算 | |

2) 新規会社登録・修正・削除

①財務処理 d b 等と同居のマスター

- ・事業期間が1年未満の場合の償却率調整の変更確認を、財務処理 d b 等と同居しているマスターでも表示するように変更しました。



3) 各種登録

①個人業種の場合

- ・業種区分を複数に、貸借対照表科目を業種別にしたマスターを作成し、資産データを入力してから会社情報の修正でいずれかの業種のチェックをオフにして単一業種にすると、各種登録の業種による絞込が正しく行われずに表示されていたのを修正しました。

* 現象例

3業種選択していたのを貸借対照表科目を業種別にしたまま「一般」のみ等を残して単一業種にしてから当業務を開けると、他の業種の科目も表示していました。

《修正前》

| 使用 | 種類区分 | コード | 科目名称 | 業種 | 償却方法 | 法定 | 限度 | 単位 | 償却資産 |
|----|--------|------|------------|----|------|-----|----|----|------|
| ※ | 建物 | 0010 | 建物【一】 | 一般 | 定額 | 10% | 5% | % | 対象外 |
| | 建物 | 0011 | 建物【不】 | 一般 | 定額 | 10% | 5% | % | 対象外 |
| | 建物 | 0012 | 建物【農】 | 一般 | 定額 | 10% | 5% | % | 対象外 |
| | 建物附属設備 | 0020 | 建物 附属設備【一】 | 一般 | 定額 | 10% | 5% | % | 構築物 |
| | 建物附属設備 | 0021 | 建物 附属設備【不】 | 一般 | 定額 | 10% | 5% | % | 構築物 |
| | 建物附属設備 | 0022 | 建物 附属設備【農】 | 一般 | 定額 | 10% | 5% | % | 構築物 |

4) 財務仕訳作成

① 法人の事業専用割合

- 法人個人区分が法人で、事業専用割合が 100%でない場合に、科目設定が反映されず未確定科目になっていたのを修正しました。

《修正前》

| 伝票日付 | 伝票番号 | 借方部門 | 借方科目 | 貸方科目 | 金額 | 対価 |
|-------------|------|------|------------|--------------|------------|----------------|
| 04.01.31 | 0 | | 0735 減価償却費 | 0211 建物 | 10,010 | 0 1~12 月分 建物 |
| 令和 04.01.31 | 1 | | 0735 減価償却費 | 0211 建物 | 16,802,987 | 0 1~12 月分 建物 |
| 令和 04.01.31 | 2 | | 0735 減価償却費 | 0212 建物 附属設備 | 10,066,608 | 0 1~12 月分 建物附属 |
| 令和 04.01.31 | 3 | | 0735 減価償却費 | 0213 構築物 | 89,449 | 0 1~12 月分 構築物 |
| 令和 04.01.31 | 4 | | 0735 減価償却費 | 0214 機械装置 | 4,877,590 | 0 1~12 月分 機械装置 |
| 令和 04.01.31 | 5 | | 0735 減価償却費 | 0214 機械装置 | 1,500,047 | 0 1~12 月分 機械装置 |
| 令和 04.01.31 | 6 | | 0997 未確定科目 | 0215 車両運搬具 | 400,000 | 0 1~12 月分 車両運搬 |

5) 減価償却計算書

① 出力設定

- 中間申告実行時、減価償却計算書の出力設定で「期中取得未使用の資産も出力する(月数欄に未経過と表示)」のチェックボックスの設定が行えるように修正しました。
- * 表示はグレーアウトしているが、確定申告時の選択が反映した動きになっていました。

供用年月日・月数・耐用年数

期中取得未使用の資産も出力する(月数欄に未経過と表示)

取得(供用)年月日を年月で出力する

② 中間申告時

- 現在申告区分が中間申告の場合、期中取得で中間申告日以降に供用となっている資産の「期末帳簿価額」が計算されなかったのを修正しました。
- 現在申告区分が中間申告の場合、減価償却計算書の「期中取得未使用の資産も出力する」にチェックを付け出力しても、少額特例の未経過資産が出力されなかったのを修正しました。
- * 既に現象が起こっているデータは、当プログラムで正しく集計します。

《修正前》

| 取 供用年月日 | 重 償却率 | 年 圧縮後取得価額 | 取 得価額 | 期 首帳簿価額 | 期 首標準価額 | 当 期増加金額 | 償 却 月数 | 普通償却限度額 | 普通償却過不足 | 普通償却額 | 償却額合計 | 当 期償却額 | 期 末帳簿価額 | 備 考 |
|-------------|----------|--------------|----------|------------|------------|------------|--------------|---------|---------|--------|--------|-----------|------------|--------|
| 1 | | 5 | 1000000 | | | 1000000 | 4 | 133333 | | 133333 | 133333 | 133333 | 866667 | 取得 |
| 令和 04.03.03 | 0.200 | | | 1000000 | | | | | | | | | 133333 | |
| 1 | | 5 | 1000000 | | | 1000000 | | | | | | | | 取得 |
| 令和 04.10.10 | 0.200 | | | 1000000 | | | | | | | | | | |

《修正後》

| 取 供用年月日 | 重 償却率 | 年 圧縮後取得価額 | 取 得価額 | 期 首帳簿価額 | 期 首標準価額 | 当 期増加金額 | 償 却 月数 | 普通償却限度額 | 普通償却過不足 | 普通償却額 | 償却額合計 | 当 期償却額 | 期 末帳簿価額 | 備 考 |
|-------------|----------|--------------|----------|------------|------------|------------|--------------|---------|---------|--------|--------|-----------|------------|------------|
| 1 | | 5 | 1000000 | | | 1000000 | 4 | 133333 | | 133333 | 133333 | 133333 | 866667 | 取得 |
| 令和 04.03.03 | 0.200 | | | 1000000 | | | | | | | | | 133333 | |
| 1 | | 5 | 1000000 | | | 1000000 | | | | | | | 1000000 | 取得 |
| 令和 04.10.10 | 0.200 | | | 1000000 | | | | | | | | | | |
| 1 | | 5 | 150000 | | | 150000 | | | | | | | 150000 | 取得 少額特例 |
| 令和 04.10.10 | | | | 150000 | | | | | | | | | | |

③集計表

- 減価償却計算書業務の集計表で「償却方法の「改正区分別」計を出力する」にチェックを付けて出力した場合、改正区分別に出力されるようにしました。明細書には表示しますが、集計表に反映していなかったのを、反映させるようにしました。

《修正前》

| 科目・品目 | 減価償却資産の名称 | 取得年月日 | 取得年 | 取得月 | 取得日 | 償却方法 | 償却率 | 償却回数 | 償却額 | 残存価額 | 償却累計額 | 償却率 | 償却回数 | 償却額 | 残存価額 | 償却累計額 | 償却率 | 償却回数 | 償却額 | 残存価額 | 償却累計額 |
|--------|-----------|-------|-----|-----|-----|------|-----|------|----------|---------|----------|-----|------|----------|----------|-------|-----|------|----------|----------|---------|
| 科目 40 | 機械装置 | | | | | | | | 70100000 | 4540867 | | | | 70100000 | 4540865 | | | | 70100000 | 4540865 | 231550 |
| | *機械装置合計* | | | | | | | | 70100000 | 4540867 | | | | 70100000 | 4540865 | | | | 70100000 | 4540865 | 231550 |
| | TOTAL | 1 | | | | | | | 70100000 | 4540867 | | | | 70100000 | 4540865 | | | | 70100000 | 4540865 | 231550 |
| 科目 50 | 器具備品 | | | | | | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | | | | 21500000 | 2150000 | 283333 |
| | *器具備品合計* | | | | | | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | | | | 21500000 | 2150000 | 283333 |
| | TOTAL | 1 | | | | | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | | | | 21500000 | 2150000 | 283333 |
| 科目 100 | リース資産 | | | | | | | | 15000000 | 3200000 | 10000000 | | | 15000000 | 3200000 | | | | 15000000 | 3200000 | 1500000 |
| | *リース資産合計* | | | | | | | | 15000000 | 3200000 | 10000000 | | | 15000000 | 3200000 | | | | 15000000 | 3200000 | 1500000 |
| | TOTAL | 3 | | | | | | | 87250000 | 8040867 | 12150000 | | | 87250000 | 20590865 | | | | 87250000 | 20590865 | 1895000 |

《修正後》

| 科目・品目 | 減価償却資産の名称 | 取得年月日 | 取得年 | 取得月 | 取得日 | 償却方法 | 償却率 | 償却回数 | 償却額 | 残存価額 | 償却累計額 | 償却率 | 償却回数 | 償却額 | 残存価額 | 償却累計額 | 償却率 | 償却回数 | 償却額 | 残存価額 | 償却累計額 |
|--------|------------|-------|-----|-----|-----|------|-----|------|----------|---------|----------|-----|------|----------|----------|----------|-----|------|----------|----------|---------|
| | *旧定率合計* | | | | | | | | 70100000 | 4540867 | | | | 70100000 | 4540865 | | | | 70100000 | 4540865 | 231550 |
| 科目 40 | 機械装置 | | | | | | | | 70100000 | 4540867 | | | | 70100000 | 4540865 | | | | 70100000 | 4540865 | 231550 |
| | *機械装置合計* | | | | | | | | 70100000 | 4540867 | | | | 70100000 | 4540865 | | | | 70100000 | 4540865 | 231550 |
| | TOTAL | 1 | | | | | | | 70100000 | 4540867 | | | | 70100000 | 4540865 | | | | 70100000 | 4540865 | 231550 |
| | *200%定率合計* | | | | | | | | 20000000 | 2000000 | 20000000 | | | 20000000 | 2000000 | 20000000 | | | 20000000 | 2000000 | 133333 |
| 科目 50 | 器具備品 | | | | | | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | 283333 |
| | *器具備品合計* | | | | | | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | 283333 |
| | TOTAL | 1 | | | | | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | 2150000 | | | 21500000 | 2150000 | 283333 |
| 科目 100 | リース資産 | | | | | | | | 15000000 | 3200000 | 10000000 | | | 15000000 | 3200000 | 10000000 | | | 15000000 | 3200000 | 1500000 |
| | *リース資産合計* | | | | | | | | 15000000 | 3200000 | 10000000 | | | 15000000 | 3200000 | 10000000 | | | 15000000 | 3200000 | 1500000 |
| | TOTAL | 3 | | | | | | | 87250000 | 8040867 | 12150000 | | | 87250000 | 20590865 | | | | 87250000 | 20590865 | 1895000 |

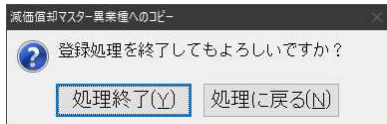
II. 通信・移動

1) 減価償却マスター・異業種へのコピー

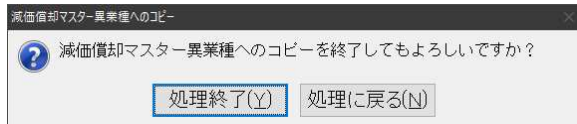
①終了時のメッセージ

- 終了時のメッセージが不適切でしたので、文言変更しました。

《修正前》



《修正後》



2) メール通信・メディア移動

①メール通信

- 「減価償却マスター送信・移動」で、メール送信時にビジュー状態になる場合があったことへの対応を行いました。

データ作成後、メール送信画面に移行するところ、下記を表示して処理が中断されていました。

- * 先行対応した財務処理 d b と同様に対応しました。

ビジュー状態は回避しましたが、メール送信がタスク上に落ちていますが、選択するとメール送信作業が可能です。



以上